

2021年11月17日

野鳥糞便からの高病原性鳥インフルエンザ（H5N1 亜型）の検出について

宮崎市佐土原町で11月9日（火）に採取した野鳥糞便について、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（CADIC）で鳥インフルエンザウイルス検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1 亜型）が検出されました。

経緯：

- 11月9日（火） ・ 宮崎市佐土原町の調整池において野鳥糞便 38 検体を採取。
- 11月12日（金） ・ 発育鶏卵に糞便乳剤を接種（糞便中のウイルスを増殖）。
- 11月14日（日） ・ 1 検体において、鳥インフルエンザウイルスを検出する HA 試験が陽性、FluA 簡易キットで鳥インフルエンザウイルス A 型陽性を確認。
・ 鳥取大学農学部共同獣医学科附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターに結果を速報として報告すると共に、分離ウイルスと糞便検体を送付。
- 11月15日（月） ・ RT-PCR 検査により鳥インフルエンザウイルスの亜型が H5、N1 であることを確認。
- 11月16日（火） ・ CADIC 感染症対策委員会開催。
・ CADIC でウイルスの遺伝子解析を実施し、高病原性ウイルスの特徴である HA 開裂部位のアミノ酸配列を有することを確認。
・ 宮崎県自然保護課長宛に結果を報告。
・ 環境省および宮崎県はプレスリリースを行った。

※本調査は宮崎大学地域貢献戦略経費のサポートにより当センターが独自に実施しております

問い合わせ先

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1

TEL/FAX:0985-58-7674

Email:cadic@cc.miyazaki-u.ac.jp

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/>